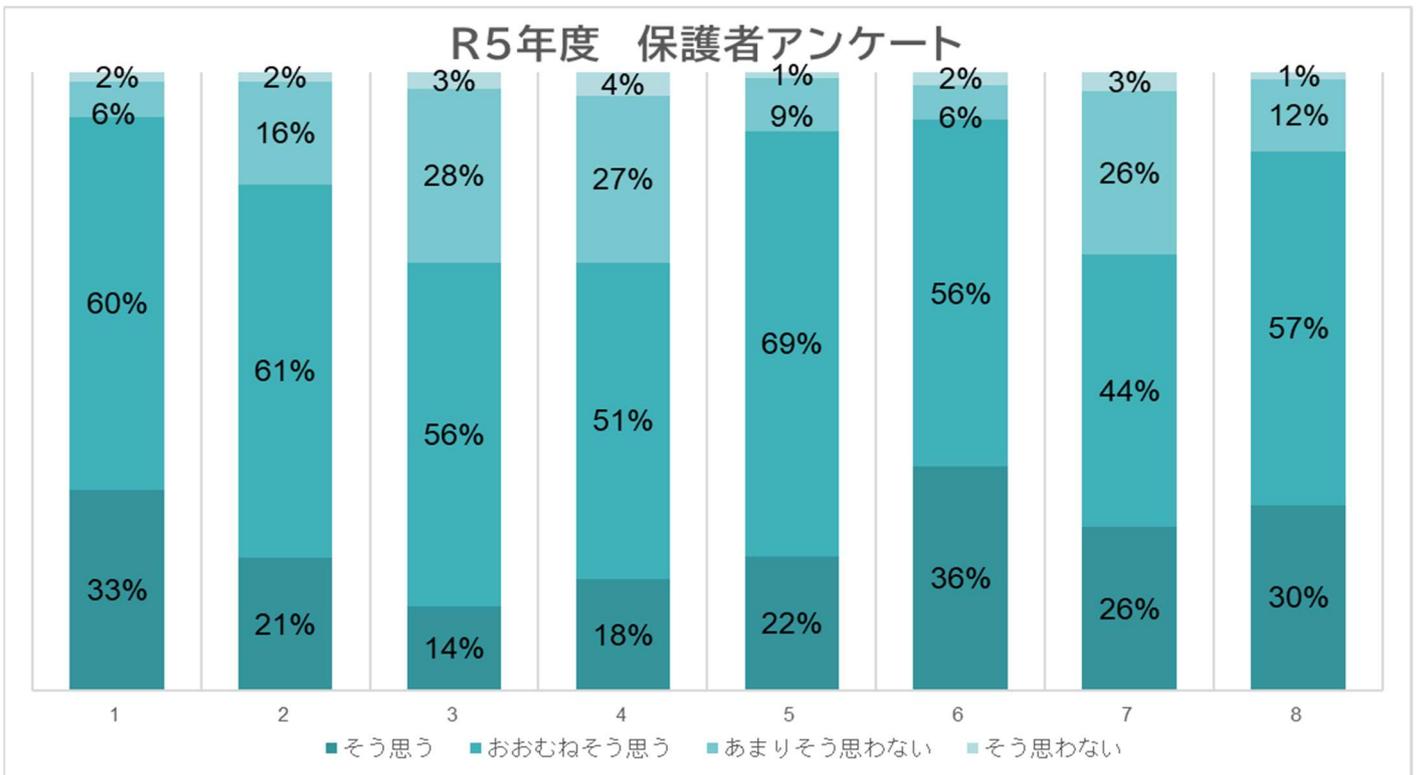


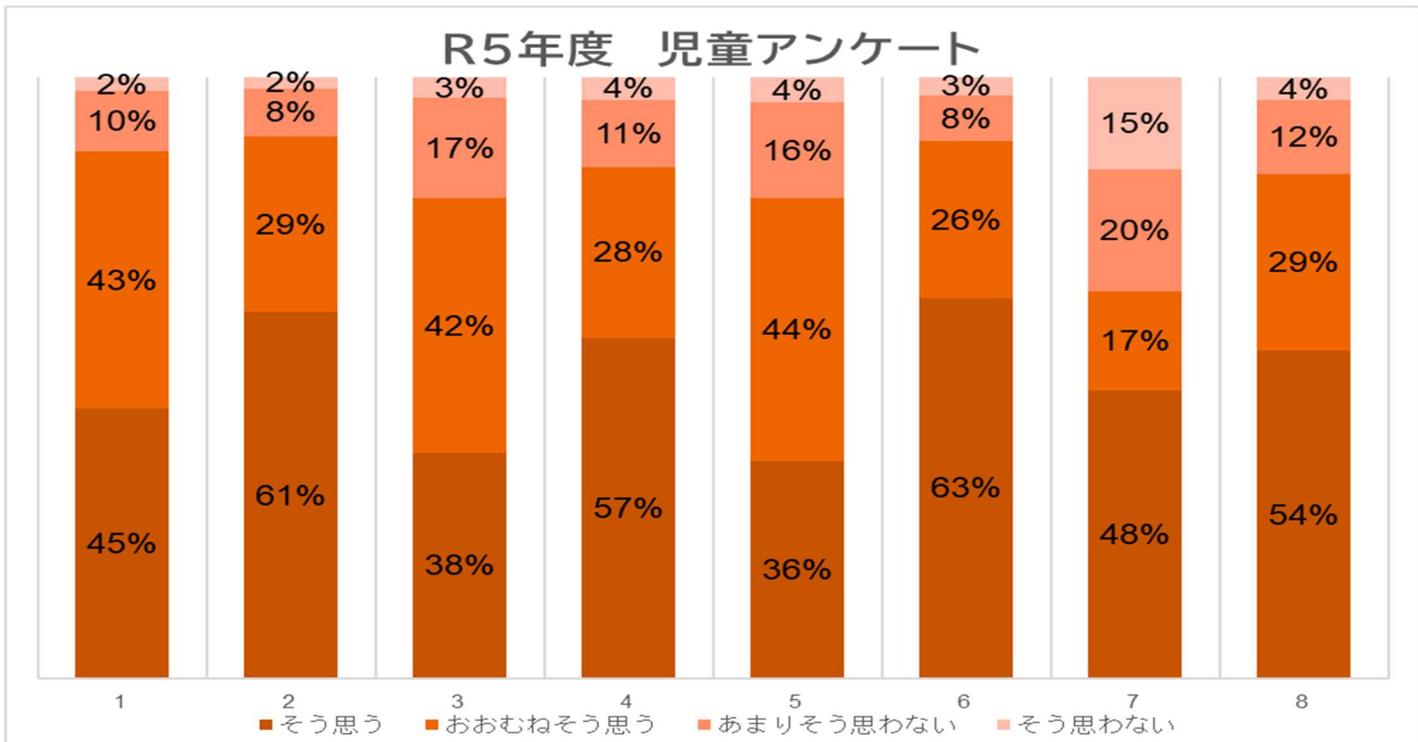
令和5年度学校評価について

R5年度 保護者アンケート



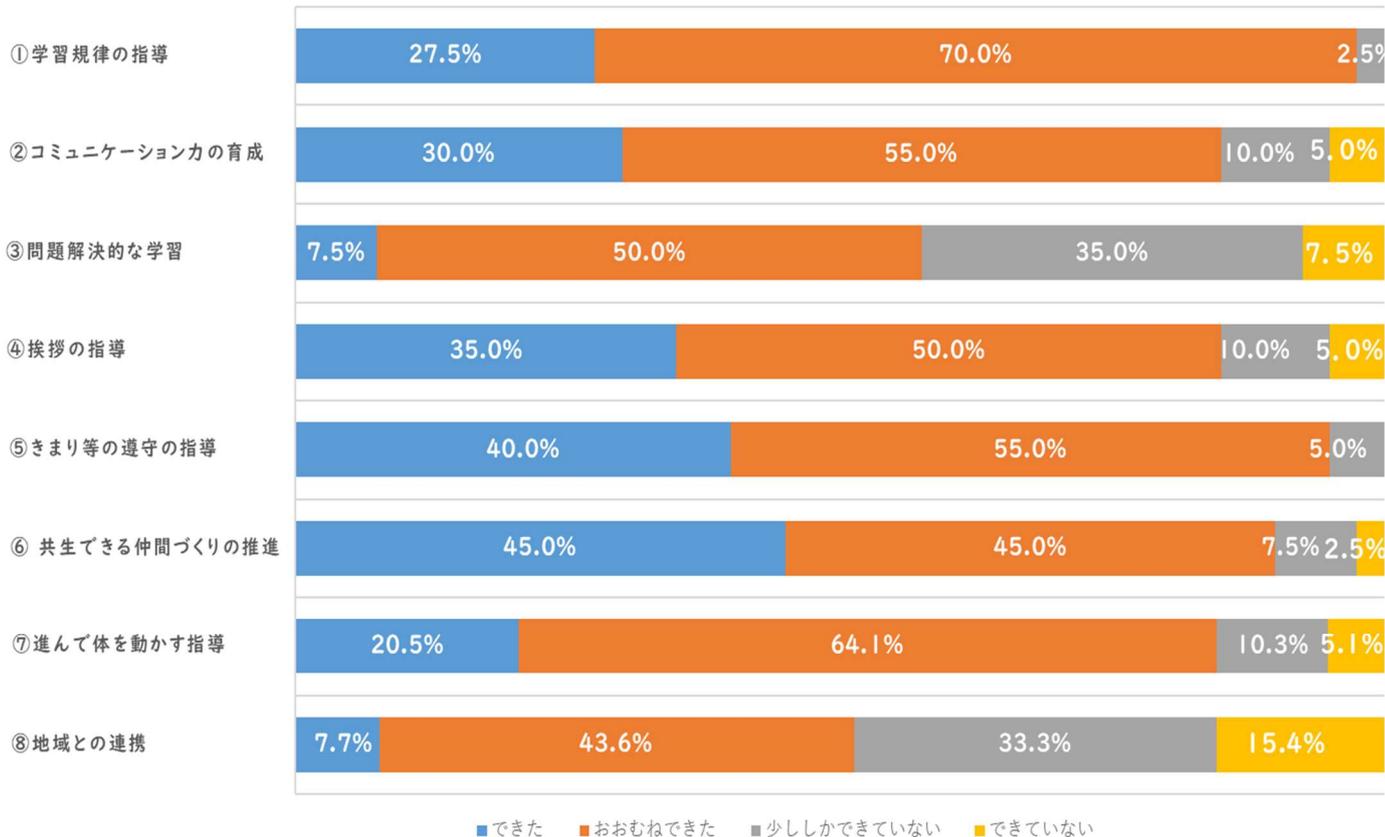
1 学習準備を整え学習規律を守って勉強をしている。	2 進んで学習に取り組む、自分の考えをもつことができている。	3 子どもたちは自ら課題を見付け、協力してその課題解決を図ろうとしている。	4 友達や先生、地域の方たちに自分から進んで挨拶できている。	5 マナーやモラル、ルールを守って行動することができている。	6 友達と仲良く過ごし、安心して学校生活を送っている。	7 学校生活や放課後、休日を含め、進んで体を動かしている。	8 ボランティアや地域の皆さんの力を活かした学習をしている。
---------------------------	--------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	--------------------------------

R5年度 児童アンケート

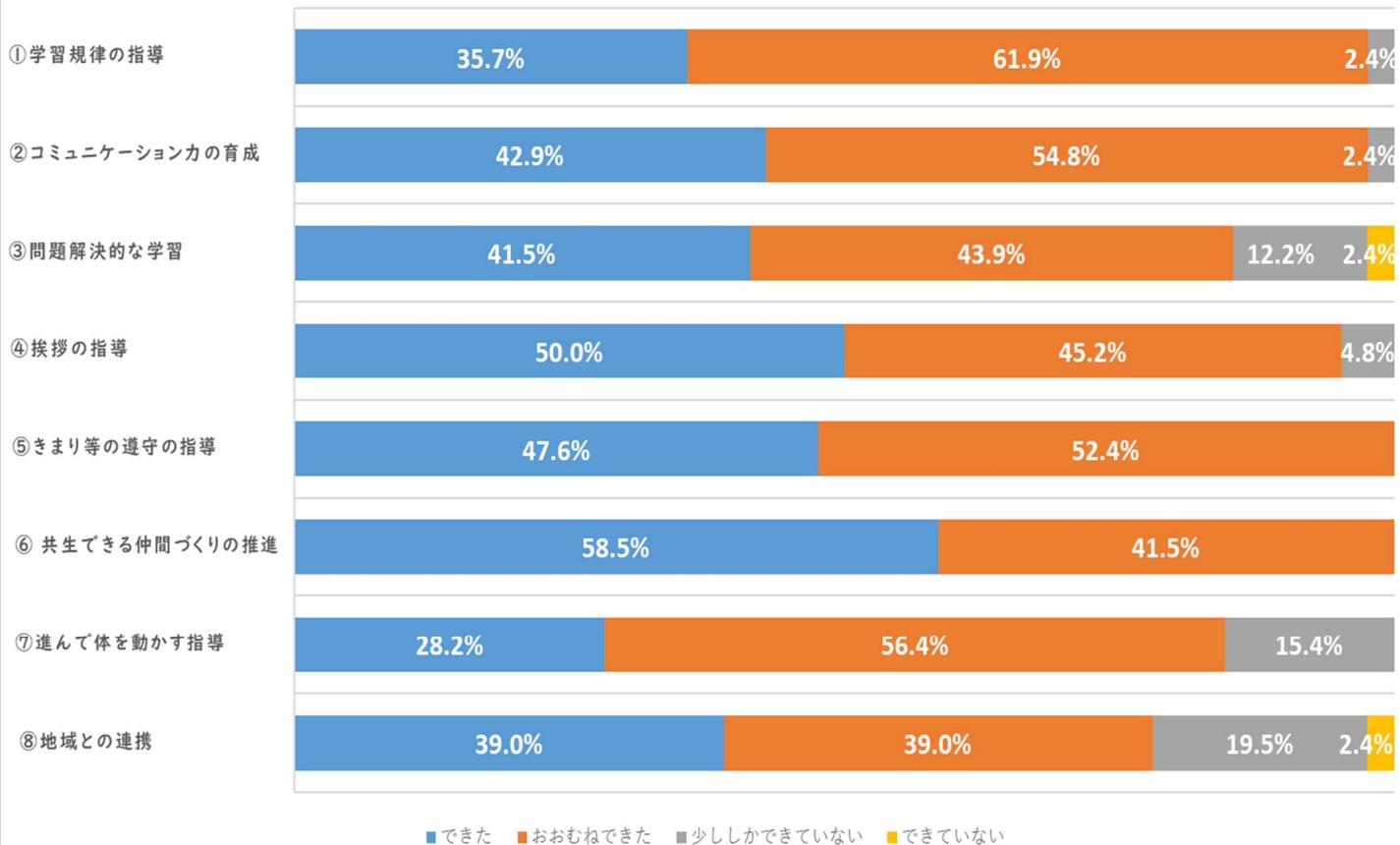


1 学習準備を整え、学習ルールを守って勉強できましたか。	2 進んで学習に取り組む、ノートに書いたり、タブレットを使ったりして、自分の考えをもつことができましたか。	3 身近なところから課題を見付け、自分なりに考えをもち、協力してその解決を目指すことができましたか。	4 先生や友達、地域の人に自分から進んであいさつできましたか。	5 廊下を走らないなど学校のルールを守ったり、ていねいな言葉をつかうなどマナーを守ったりできましたか。	6 みんなから大切にされ、安心して学校生活を送ることができましたか。	7 朝や20分休み、昼休みは、運動場に出て、元気に遊んでいますか。	8 地域の方に教えてもらったり、一緒に活動したりして、しっかり学習できましたか。
------------------------------	---	--	---------------------------------	---	------------------------------------	-----------------------------------	--

R5中間期教職員自己評価



R5後期期教職員自己評価



昨年12月に実施しました「学校評価アンケート」について、集計結果及び考察について、児童アンケート、教職員自己評価とともに示させていただきます。

アンケートの中で保護者の皆様の評価は、8項目中5項目で「そう思う」「おおむねそう思う」と回答いただいた割合が80%以上と高く、肯定的なご意見が多かったです。しかしながら、80%に到達していない項目が3項目あり、今後の課題として、学校、家庭、地域が連携した取組が必要だと感じています。

「学習規律」の項目に関しては、教職員もしっかりと指導を行っており、保護者や児童の意識も約90%と高い評価になっています。これは、年度当初に教職員で学習規律の重要性について確認を行うとともに、日々の教育活動の中で児童とともに意識できている成果だと感じています。また、本年度も昨年度同様、生駒市教育委員会や生駒小学校学校運営協議会委員をはじめ、いろんな来客の方などからも「落ち着いて学習していますね。」と感想をいただいています。

「自分の考えをもつ、コミュニケーション力」の項目に関しては、教職員の方では前期よりも指導の意識を高く持ち取り組むことができました。保護者からも82%と高い評価をいただいております。昨年度よりも3ポイントアップしています。また、児童自身も90%と高い評価となっています。昨年度同様、国語科「書くこと」を中心として指導に当たっていたこと、タブレットを使用して自分の意見を持たせたこと、大型モニター等を使用してお互いの意見を交流できたこと等が影響したものと考えられます。

新たな評価項目である「問題解決的な学習」の項目に関しては、教職員においては約85%と中間期よりも約30ポイントアップしています。夏期休業中に教職員がESD研修を受け、その実践を2学期に行ったことが大きく影響していると思います。また、児童においても課題解決的な学習を行えたので、80%の子どもたちが肯定的な評価をしています。保護者においては70%であり、学級、学年、学校のそれぞれで、情報発信の必要性を感じました。次年度も引き続き、ESDをはじめとする課題解決学習に取り組み、教育活動を充実させていきたいと思っています。

「あいさつ」の項目に関しては、教職員においては約95%と中間期よりも10ポイントアップしています。また、児童においても85%で、昨年度よりも6ポイントアップしています。保護者の評価においては、69%と約7割の方ができていると評価していただいておりますが、その割合は昨年度と同様です。地域の方からは、「子どもたちからの挨拶で元気をもらっています。」「よく話しかけてくれるんですよ。」という感想もいただいております。「最近、子どもたちは挨拶しませんなあ」とご注意を受けることもあります。「あいさつ」に関しては、様々な立場で違いがあるようです。

教職員においては、校内で率先して挨拶を励行することで、子どもたちへの指導を意識して行わないといけません。来校者に対しても率先して挨拶するよう共通理解しており、明るく挨拶する教職員の姿がそこにはあります。現在よりもさらに多くの子どもたちが、毎日気持ちよく挨拶できるようになるためには、ご家庭や地域の方の協力も必要となります。地域で挨拶運動をしようとのぼり旗を立てました。その時は、挨拶が増えたようです。「継続は力なり」。是非、ご家庭や地域で子どもたちに声をかけ続けていただければと思います。

「きまり等の遵守」の項目に関しては、教職員は100%、保護者も90%以上と高い評価で、子どもたちにおいても80%以上と高い評価になっています。しかし、9割に届かないのは、広い廊下を走ってしまう子どもがいるためでしょう。このことに関しては、教職員が統一して指導を行っているとともに、委員会の子どもたちも廊下が交わる場所に足形を貼って、減速を促してくれています。また、言葉遣いが丁寧でないことも原因の一つかもしれません。学校でもご家庭でも、言葉遣いについて指導していかなければなりません。

「仲良く、安心して学校生活を送っている」の項目に関しては、教職員は100%、保護者、児童ともに約90%と高い評価です。安心して過ごせる学級づくり、トラブルが起こっても迅速に対応する学年集団などの効果があったのではないかと考えます。このことは、県教委が実施した「人権を確かめ合うアンケート」でも、本校の94%の子どもたちが「自分も周りの人も、一人一人の違いを認め合うことができている」と評価していることから分かります。次年度も引き続き、取り組んでいきたいと思えます。

「進んで体を動かす」の項目に関しては、教職員は意識して指導したものの、十分に指導できておらず、保護者や児童の評価においても約7割と低い評価になっています。体力向上を図るための取組を行ったり、教職員が体づくりの研修を行ったりしていますが、この項目においては、毎年度課題となっています。しかし、3学期に入ってから、小運動場で縄跳びをする多くの子どもたちの姿があり、3学期にアンケートを取ると結果が変わっていたかもしれません。

「地域との連携」の項目に関しては、2学期に地域の方を招いての学習が多かったことから、教職員の評価も中間期よりも良くなっています。また、保護者や児童の評価も85%前後と高い評価になっています。児童においては、実際に自分たちが授業を受けたと感じることが多かったからだと思えます。また、保護者においては、子どもたちからの話や、学校からの情報発信も高評価の原因になったのではないかと考えます。本年度は「いこマイタウンプロジェクト」として、SDGs学習、ESDに取り組みました。今年度実施した学習は、来年度さらにブラッシュアップして展開していく予定です。今後、さらに地域との連携が深まることを期待しています。

今回、保護者からの意見で、行事の工夫した実施、担任の尽力、子どもと保護者に寄り添った対応などについて、多くの感謝の言葉をいただきました。大変ありがたく感じるとともに、さらに気を引き締めて教育活動に取り組まなければならないと感じました。また、いただいたご意見に対しては、改善できるところは改善していきたいと思えます。今後もより良い教育活動を進めていきたいと思えます。

以上、簡単ではありますが学校評価についての考察とさせていただきます。今後とも、生駒小学校の「目指す児童像」に向けて取り組んでいきたいと思えます。

貴重なご意見、ありがとうございました。